

認知症の人に寄り添うその手がある



●お問い合わせ先：地域包括支援センター ☎733-2800

認知症と聞くと「まだまだ私に関係はない」と思っている方もいるのではないのでしょうか？豊能町の高齢化率も44.6%となり、自分自身が、家族が、いつ認知症になってもおかしくない状況になってきています。

今回は、身近になってきた認知症を正しく知り、認知症になっても安心して暮らせる豊能町にするために、何ができるか、どんな支えがあるかを考えます。

認知症はさまざまな原因で脳の働きに不具合が生じ、今までできてきたことができなくなり、日常生活に支障が出ている状態で、単なるもの忘れとは違います。

例えば、朝ごはんは何を食べたか思い出せないといった、体験の一部を忘れるのは、老化によるもの忘れといえますが、朝ごはんを食べたこと自体を忘れる場合は認知症が疑われます。



認知症は
脳の病気です

老化と認知症の「もの忘れ」の違い

老 化	認知症
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全体を忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人が誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	食べたことじたいを忘れている
約束をすっかり忘れてしまった	約束したことじたいを忘れている

*認知症サポーター養成講座テキスト参照



認知症の人を支える社会



医療

- かかりつけ医
- かかりつけ薬局
- 認知症専門医
- 認知症疾患医療センター など



介護

- 地域包括支援センター
- 認知症初期集中支援チーム
- 介護保険事業所
- ケアマネジャー など

地域

- 近隣住民
- 自治会
- スーパー、コンビニ、銀行、公共交通機関
- 民生委員、福祉委員
- 介護者家族の会
- ボランティア
- 認知症キャラバン・メイト
- 認知症サポーター など



認知症の診断には医療機関の受診が必要です。認知症の人にとって専門的な医療ケアは重要な支援となります。

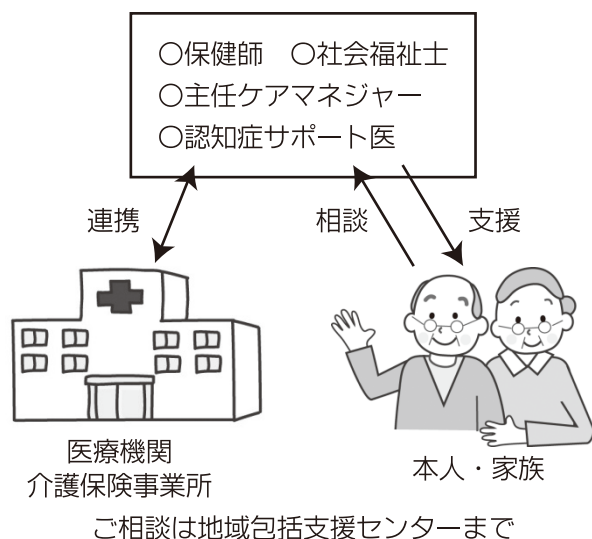
認知症サポート医として、豊能町の認知症初期支援集中チームにおける医療面のアドバイスなどを行っている、まわたり内科の馬渡秀徳先生にお話を聞きました。

医療で支える

認知症初期支援集中チーム

自宅で生活している40歳以上で、認知症が疑われながら、医療や介護のサービスを受けていない、または中断している人を支援するチームです。

保健師、社会福祉士、認知症サポート医等で組織され、訪問などで本人や家族の相談に応じ、病院受診やサービス利用など適切な支援機関につなぎます。



認知症は、病院を受診しても意味があるの？ とよく聞かれますが…



認知症と思っていたのが、水頭症や慢性硬膜下血腫

などほかの疾患であることもあります。

認知症を疑った時には、一度かかりつけ医に相談してみましょう。

薬は効きますか？

患者さんによって効果の出現は異なりますが、一定の効果は期待できます。症状に応じて薬物治療を検討してください。

認知症はどこで相談すればいいですか？

まずは、かかりつけ医に相談してみましょう。そこから物忘れ外来などに紹介してもらうのが良いと思います。

最後に先生から一言、お願いします。

認知症の対応で一番大切なのは周囲の理解だと思います。病気を正しく知ったうえで、認知症の方とうまく付き合っていくようにしましょう

認知症と介護は切っても切れないもの。のせの里居宅介護支援事業所主任ケアマネジャーの永山さんと、ケアプランセンター祥雲館主任ケアマネジャーの千田さんによくある質問や介護のポイントを聞きました。

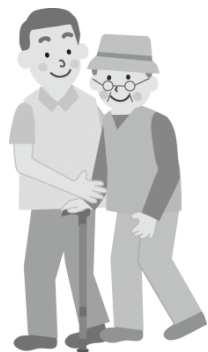
介護で支える

「どこからが認知症状なの?」「もしかして認知症・・・」と思った時は地域包括支援センター、町内のケアマネジャーがいる居宅介護支援事業所やケアプランセンターに相談してください。

「家族の関係が悪いし・・・」「家の中の状況を他の人に見られるのに抵抗がある」などの声を聴くことがあります。

家族で抱え込まないで誰かに相談することがポイントです。相談は無料です。お宅まで伺いますよ。

介護はご家族の力と介護のプロが力を合わせて行うことでより良い支援ができます。自然豊かな豊能町で安心して暮らせるように支援します。



在宅介護支援センターは、24時間相談できる窓口です。

のせの里在宅介護支援センター ☎739-2240

在宅介護支援センター祥雲館 ☎733-2301



地域で支える

いつまでも住み慣れた豊能町で暮らすには地域の支えがかかせません。豊能町では認知症の人や家族を支える活動をしている地域の方がいます。

豊能町介護者（家族）の会は、介護者にとっての癒しの場でありたいと願っています。

つどい…いろいろな意見が聞けます

交流をメインにした情報交換や意見交換の場です。

リフレッシュ…気分転換も必要です



食事会などで、日ごろの介護疲れをリフレッシュしています。

施設見学・勉強会・講演会など

より良い介護を行うために色々な情報を知り、知識を深めます。



ひとりで悩まないで！きっと気持ちの通じる仲間が見つかります。介護でお悩みのかた以外にも、介護に関心のある方の入会もお待ちしております。

事務局：豊能町社会福祉協議会

☎738-5370

豊能町では**認知症キャラバン・メイト**がたくさん活躍しています。認知症サポーター養成講座だけでなく、地域の人と行政や地域包括支援センターの橋渡し役、日々の見守り活動を行っています。

「**認知症カフェ**」は認知症や介護家族、地域の認知症に関心のある人が気楽に集う場所として存在します。

情報交換するだけでなく、医療や介護の相談ができ、地域の人との交流の場になっています。町内に3カ所あります。

お問い合わせは地域包括支援センターまで



豊能町の事業のご案内

認知症サポーター養成講座

認知症について理解し、応援者になっていただく講座です。

サポーター養成講座を受けた方にはオレンジリングをお渡ししています。



豊能町では、オレンジリングをつけた2334人のサポーターが誕生し、小学生の子供から高齢の方まで幅広い応援者が自分なりの方法で応援してくれています。

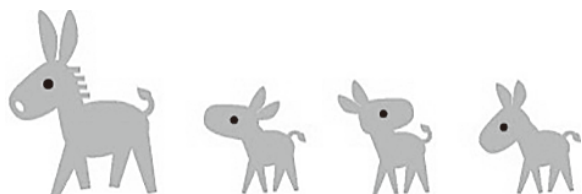
認知症サポーター養成講座を受けたい方は、事務局まで

事務局：地域包括支援センター

☎733-2800

豊能町社会福祉協議会

☎738-5370



認知症相談

「認知症って診断されたけれど、これからどうすればいいの？」

「病院で検査を受けてほしいけれど拒否される」

「暴力・暴言で大変。近所にも迷惑かけるしどうすればいいの？」

「人が変わったみたい…」

こんな悩みはありませんか？
専門医と一緒に考えましょう！

精神科医によるこころの健康相談です。

毎月第1火曜日 午後2時から
(一人40分程度 予約制)

お問い合わせ・ご予約は

地域包括支援センターまで

☎733-2800



SOSネットワーク登録

認知症により高齢者の方などが行方不明となった場合に、地域の方々や事業所の方々にご協力をいただき、すみやかに行方不明になられた方を発見し、安全の確保をするしくみです。

事前に対象者の方の登録が必要です。

まずは、地域包括支援センターまで、ご相談ください。



映画会&講演会のご案内

ぼけますから、よろしくお願いします。

母、87歳、認知症。父、95歳、初めての家事。そして、監督であり娘である「私」の視点からのドキュメンタリー。



日時：9月30日（月）

午後1時開場 午後1時30分開演

場所：ユーベルホール

費用：無料

東地区より送迎あり。

お問い合わせは地域包括支援センターまで

☎733-2800